

会議名	第20回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会
日時	平成24年9月14日(水)午前10時～午前11時15分
場所	永福南小学校 視聴覚室
出席者	統合協議会委員 17名(欠席6名)
傍聴者	1名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1)コミュニケーションマークの選定について 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1)教育目標『やさしくつよく』が目指す子供像について (2)統合新校の地域に開かれた学校づくりについて (3)校歌制作の進捗状況について (4)図書室、パソコン室の設計変更について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1)PTA活動報告 (2)教職員統合会議報告
資料	資料1 コミュニケーションマーク制作部会推薦マーク図案 資料2 学校評議員と学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)との関係

会長	<p>第20回の統合協議会を開催いたします。</p> <p>2学期も始まり、子供たちも元気に活動しております。暑い日が続いているので、各学校でも脱水症状・熱中症にならないよう水分補給等については、十分気をつけて取り組んでいるところです。また2学期は、それぞれの学年同士の交流等も予定されております。この2学期が統合に向けて大きな山場、子供たちの交流についての山場になってくるかと思えます。いろいろご報告させていただく中で、ご協力も賜りたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日、傍聴者が1名いらっしゃいます。</p> <p>では、本日の議題・報告等について確認をさせていただきます。</p> <p>まず議題は、「コミュニケーションマークの選定について」部会で選定作業をしていただきましたので、その報告を受けます。その後、最終的にコミュニケーションマークをどういう形で決定するのかということをお協議していき</p>
----	--

	<p>たいと思っています。</p> <p>続いて、報告事項として、統合新校の目指す子供像について、2つ目は統合新校の地域に開かれた学校づくりについて、3つ目として校歌制作の進捗状況、4番目として図書室・パソコン室の設計変更についてということで、報告をいただきます。</p> <p>最後に、その他で何かお話がある方はいらっしゃいますでしょうか。今予定されているのは、各学校の交流等の予定について、PTAの統合に向けての話し合いについての2点ですけれども、ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>議題に入る前に、前回の統合協議会の議事録がお手元にありますので、これを見ていただいて、もし修正等の要望がありましたら、9月21日までにご回答をお願いいたします。</p> <p>それでは教育委員会のほうから、お願いいたします。</p>
新しい学校づくり係長	<p>本日は、部長と課長は文教委員会に出席のため、欠席させていただいております。文教委員会の議題のひとつに学校設置条例の改正があり、永福小学校と永福南小学校が新しく永福小学校に統合されるという内容の改正になります。議会の最終日10月5日に可決という運びになりましたら統合新校の校名が正式に「永福小学校」に決まります。</p> <p>また、本日は議題の関係で学校支援係長がお邪魔させていただいております。</p>
会長	<p>議題に移ります。コミュニケーションマークの選定について、制作部会から今までの経緯とマークの候補について報告をお願いいたします。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>コミュニケーションマークの選定について、部会報告等を含め報告させていただきます。</p> <p>まず、コミュニケーションマークの選定については、前々回、4月の第18回の統合協議会で部会設置が決まり、5月に第1回目の部会を開催したところです。</p> <p>前回6月の第19回の統合協議会で応募用紙の様式と募集期間について報告をしました。応募用紙により、永福小・永南小の全児童を対象に、6月15日から29日までの約半月の間、募集をしました。</p> <p>募集の結果、120点の応募がございました。応募者の名前を抜いて一まとめにしたファイルを供覧いたします。</p> <p>事務局のほうで、応募の120点を類似のもの同士を集めて分類をし、番号を付しました。例えば、花や木を主体的にデザインにしたものを100番台とするなど500番台まで5種類で分類をさせていただきました。</p> <p>まず、部会で第1段階として、120点から10点を選んでいただきました。選ばれた10点についてトレースをかけました。そのトレースのイメー</p>

	<p>ジが、配付のマスターイメージ版と書いてある参考資料の1でございます。</p> <p>トレースした10点から、第2段階として、3点に絞りました。その選ばれた3点について、若干の微調整を加え、何パターンかトレースしてもらいました。そのトレースしたものを一昨日の第5回部会で最終選考いたしました。その結果が資料1のとおりでございます。</p> <p>資料1の順序が、制作部会として決定した推薦順位順です。第1位はナンバー107です。永福の「永」の字をデザイン化したものですが、これが部会では断トツでした。それから、以下、139の作品、ナンバー104のケヤキ全体をかたどった作品の順ですが。2点目、3点目はそれほど差がありませんでした。</p> <p>下の囲みは、応募者ご本人が記載したコメントそのものです。応募用紙の下の欄に書いてあったコメントをそのまま転記しております。</p> <p>ということで、部会の一押しは107です。</p> <p>部会のメンバーですが、この統合協議会委員のPTAの方々6名と両副校長、それから両校の図工の先生方、計10名で構成されておりました。お忙しい中、5回も集まっていただきました。改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>以上が、コミュニケーションマーク制作部会における推薦マーク決定までの経緯でございます。部会からは推薦する3点に優先順位をつけて統合協議会に提出するものです。</p>
<p>会長</p>	<p>本日までに5回の会合ということで、本当に制作部会の委員の皆様どうもありがとうございました。</p> <p>ただいま、経緯と部会推薦のコミュニケーションマークの提案がございました。今報告にあったように、子供たちから応募していただいたものを選定し、候補を3つに絞って提案させていただくということでした。資料にある順番が部会での推薦順位ということで、第1候補が「永」の字をモチーフにしたものとなっています。</p> <p>コミュニケーションマークの決定をどのような形ですが、最終推薦をしていただくまでの全てについてを制作部会の皆様方にご依頼申し上げた、という経緯もあるので、コミュニケーションマークの決定までの順位等も含めながら、部会の意向を中心に進めていくということが必要かと思っています。</p> <p>そのようなことから考えますと、これは私からのご提案ですが、もし皆様方のご了解をいただければ、この順位第1番目に推薦されたものをコミュニケーションマークとして制定するというので進めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。うなずいていただいている</p>

	<p>方もいらっしゃいます。</p> <p>では、制作部会の第1候補としてナンバー107番、これをコミュニケーションマークとするということで、統合協議会の意見として出したいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしければ、拍手をいただければと思います。</p>
	(拍手)
会長	<p>それでは、この107番をコミュニケーションマークにいたします。</p> <p>そのほか部会についての報告はありますか。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>制作部会の所掌事項には、コミュニケーションマークのほかに開校記念品とマークの活用について、があります。開校記念品については、部会各位から意見や品物の提示をしていただきましたが、部会員全員からの賛同を得、最終的にキーホルダーに決定しました。</p> <p>キーホルダーのデザインについて、コミュニケーションマークを入れるなど学校といろいろ相談も交える必要がありますので、引き続き部会のほうで検討させていただけたらと思います。</p> <p>コミュニケーションマークの活用につきましては、活用例示等まとめていますが、これについても引き続きということをお願いいたします。</p> <p>部会のほうからは、以上でございます。</p>
会長	<p>それでは、この後も制作部会の仕事としては、記念品についての選定やデザイン等があるかと思えますけど、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>107番のデザインはこれでいいと思いますが、マスターイメージのところ選ばれている10案で、107番以外はみんな、「永福」なり「永」なりというのが入っています。107番だけ何にも文字が入っていないんですが、コミュニケーションマークは別にそういうのはなくても全然問題ないものですか。デザイン的にはこれはなかなかいいなと思うのですが。</p>
委員	<p>デザインそのものが「永」となっているんじゃないですか。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>確かに文字そのものは入っていないのですが、「永」の字のデザインで表しています。</p>
委員	<p>これを見て「永」を想像するかは、こじつけ的ではないか。例えば、下に永福と入れるとかしないと、ぱっと見て永福のマークだなと皆さんにわかってもらえるか、ちょっと心配です。</p>
会長	<p>校章旗、校章については永福小学校という名前が入っているが、コミュニケーションマークについては、この間の経緯として、子供たちが統合の証としてということで、お互いの統合を喜んで、これからも仲よくしようねという一つの象徴として考えていくなれば、特に小学校名が入ってなくても構</p>

	<p>わないのではと考えていけばよろしいかと思っています。そういうことでよろしいですか。</p> <p>それで、今話がありましたように、活用については今後双方の校長で統合新校が開校するまでの間に考えていきたいと思っています。どのような活用をするかについては、また来年になりましたらお話をさせていただこうと思っています。</p>
委員	<p>ここには丸がないんだけど、この丸は誰かがアレンジしたんですか。</p>
会長	<p>107番の原案には丸がない形で示されています。今回丸をつけた形でご提案するというのは、何か意図があるのですかというようなことですが、いかがでしょうか。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>選ばれた3点と、それぞれ何種類かパターンをつくった中では、丸がないものでしたが、丸を入れたほうが、旗とかそういうものにしたときにうまく収まるのでは、また、バッジにしたときにも丸があったほうがうまく収まるのではという含みがあり、部会からは、丸をつけるということで提案させていただいた次第です。</p>
委員	<p>これを発表するからには、作者の許可が要るのではないか思うわけです。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>私たちもその心配もあったのですが、極端に文字を入れたり、何か形をゆがめてしまったりなどの類とは違って、丸を入れるのはそれほど原型をなくすものではないという判断で決定させていただきました。</p>
委員	<p>付け足させていただきますと、丸い額縁にその子がデザインしたものが入るという意味づけをしたらどうかと思っています。マークというのは、ひとり歩きするものなので、デザイン的にできるだけベストなものがいいたらうということで、額縁にデザインしたものが収まるというような意味づけにしたらどうかと思いました。</p>
委員	<p>ということは、丸いものに収めるということですよ。</p>
委員	<p>丸いものに収めるわけではなくて、その子がデザインしたものがそのまま丸い額縁に入りましたというような意味づけです。</p>
委員	<p>はい、わかりました。</p>
会長	<p>デザインとしてこの形で進めていくということによろしいですね。バランスや空間のスペースなど実際にはめ込んでいったときに、小さな修正もあるということによろしいでしょうか。</p> <p>ほかにコミュニケーションマークについてよろしいですか。では、このコミュニケーションマークについては、次回の「統合協議会ニュース」において、決定ということでお知らせいただけないかということでもいいですか。</p>
委員	<p>そのお知らせのときには、これがそのままということですか。それともプ</p>

	口の方が入って、完全になったものをお知らせするということですか。
新しい学校づくり係長	<p>今回提示しているのはすでにプロの方にトレースしてもらったものです。今、校長先生がおっしゃったのは、実際にコミュニケーションマークを印刷して、旗をつくったり、いろいろ活用するときに、例えば縦横の比率などを、その時々に応じて少し微調整、バランスを考えていくという、そういう意味なんです。</p> <p>実は、現在の永福小、永福南小の校章でも、印刷物を見ると微妙に違っていたりということはあるのです。同じように、つくる場面の状況に応じて、原型はあるけれども、多少線の太さが変わったりとか、そういうこともあるという意味です。</p>
委員	私、蛇足でちょっと言わせてもらいたいのですが、3番目の永福小のコミュニケーションマークがありますよね。その下に、「ケヤキが有名で2つの学校が一緒になっている」と書いてあるのですが、107も2つ同じようなマークがあります。意味合いとして、これが2校ということにさせていただくと非常にありがたいんですけどね。
委員	両方が一緒になりましたよという意味でね。
会長	いわゆる意味づけの問題で、こちらは子供たちが実際に書いたものが下に書かれていますけれども、そういうことも含めながら、2校が一緒になった、そういう状況もあらわすというようなことも今回加えていただいたらどうでしょうかと、そういうご提案ですけれども、これはどうですか。
委員	永福小学校はケヤキがあるでしょう。だから、ケヤキのもとにということですね。
委員	対外的にこういうときには、それらしいことがいっぱいあったほうが何となく納得しやすいから。統合ニュースとかに書くときには、そういう理由があっても地域の人にはわかりやすいかもしれないです。
新しい学校づくり係長	2つの学校が仲よくまとまっていくさまもあるから、みたいな。
委員	選定側の理由として使ってもいいと思います。なぜこれにしたかということを加えたほうがいいのではないかと思います。
新しい学校づくり係長	わかりました。それはそういう表現でご紹介ができると思います。
会長	<p>よろしいですか。統合協議会の意見として、そのような意味づけも加えていくということでよろしくお願いします。</p> <p>ほかにコミュニケーションマークについてよろしいですか。制作部会の方は、この後も幾つかの事案がありますけれども、よろしく願いいたします。</p>

	<p>続いて報告事項のほうに移ります。順番を変えます。まず初めに、「統合新校の地域に開かれた学校づくりについて」ということで、学校支援係長からお願いいたします。</p>
<p>学校支援係長</p>	<p>日ごろから学校支援課の事業には地域の皆様いろいろなご協力をいただき、大変ありがとうございます。</p> <p>本日参りましたのは、ご覧になられたことがあるかと思いますが、今年度「教育ビジョン2012」を策定いたしまして、「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」ということをこれから杉並区が目指していく教育の方針ということで打ち出しております。その中に、取り組みの方向性が4つありますが、2つ目として「家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育を進めます」ということがございます。</p> <p>永福小学校は現在学校運営協議会を設置していて、また、永福南小学校には現在学校評議員制度があります。この中の委員の皆様にもご出席いただき、いろいろご意見を学校のために頂戴しているところでございます。今度、来年4月に新しい永福小学校ができたときに、どちらの制度にするかということですが、今申し上げましたとおり、杉並区は地域に開かれた学校づくりを一層進めていくということからも、学校運営協議会制度のもとに新たに発足させていただきたいということをお願いをしたいと思います。</p> <p>学校評議員制度と学校運営協議会制度はどんなところが違うのかというところでございますが、資料2をご覧くださいと思います。</p> <p>学校評議員制度と学校運営協議会制度というのは、両方とも地域に開かれた学校づくりを進めていくというところでは変わりはありません。ただ、学校運営協議会制度のほうがより権限を持って参画をしていくというところが違います。</p> <p>学校評議員制度の場合は、校長先生が必要に応じてご意見をいただくということで、皆様にお集まりいただいてご意見をいただきます。評議員の方が必要というときにも学校に対しては意見を申し述べることができますが、校長先生のお考えのもとにそういうご意見を尊重して進めていただきましょうという制度でございます。</p> <p>一方、学校運営協議会制度になりますと、校長先生の経営方針に対して承認をしていただくとか、また、校長先生の経営方針のもとに、教員の人事についても、一定の範囲でございませぬけれども、意見を言うことができます。</p> <p>例えば、校長先生・副校長先生が同時に異動年限がきて、今まで地域の意見を聞いていただきながらとてもいい教育方針のもとにやってきていたのに、二人とも同時にいなくなってしまうと、そういう大切にされてきた中身が引き継がれないのは困るから、ずらして異動するように配慮してほしい</p>

	<p>などのご意見をいただく場合がございます。また、他には吹奏楽に力を入れてきた音楽の先生がかわってしまって、今度声楽が得意な先生が見えて、吹奏楽は指導ができませんということだと、指導上も困ったりする場合がありますので、ぜひ次の先生もそういう方にしてほしいという要望があった例もございます。</p> <p>人事権がある東京都の教育委員会に意見を上げ、そこで尊重していただくということになりますけれども、人事に対し意見を言うことができるという権限がございます。</p> <p>委員の方々も、学校評議員制度のもとでは10名ですが、学校運営協議会制度になりますと、非常勤の公務員として、分野とか選出区分とか人数が決まっています、公募の中で応募されてきた委員の方も入っていただくなど、システムが決まっております。</p> <p>学校運営協議会制度のほうが、権限を持って教育に参画していくので、地域に開かれた教育が一層進んでいくという方向です。杉並区も、今後更に毎年4校ずつ指定していくという計画なので、ぜひ統合新校になった場合も、新しい永福小学校は学校運営協議会の制度のもとに運営される学校ということと進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>細かい点につきましては、また、校長先生を中心にと皆様方とご相談の上で決めさせていただくことになるかと思いますが、そういう方向性で進めて参りますので、ご了解いただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまお話しいただいたのが、統合新校においては区の方向性である学校運営協議会制度で学校運営を行っていただきたいというような話かと思いますが、それについてはいかがでしょうか。区の方向性の学校運営協議会制度で進めていくということで、確認をとらせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、統合新校につきましては、学校運営協議会制度のもとに実施をしていくということになります。また平成25年3月31日までは、それぞれの学校がそれぞれの制度のもとで行っております。統合新校に向けては、双方の校長のほうから推薦を出していただいたり、あるいは公募したりというようなこと、幾つか該当者をお願いすることがあると思いますので、今後、双方の校長で考えていきたいと思っております。</p> <p>ただいまの学校運営協議会制度等について、ご意見やご質問はよろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、「教育目標『やさしくつよく』が目指す子供像について」ということで、副会長のほうからお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>では、参考資料をお出してください。</p>

夏休み中、末永校長といろいろ話をしましたけれども、まだ熟し切ってはおりません。まず一番最初に「地域と共に創る学校を目指して」ということで、皆さんからさまざまなご意見をいただきました。大きな教育目標をわかりやすく、「やさしく つよく」、一本だけでいくことが決まりました。現在の永福小学校も永福南小学校も、学校の教育にかけて、「何とかの子」というのがいろいろあると思いますが、そうではなくて、「やさしく つよく」、これが今回の新校のものですよと決まりました。

ただ、そうは言っても、では一体「やさしく」とは、「つよく」とは、どういう子供たちのことをあらわしているんですかということ、一応、「目指す子供像」ということを考えました。

その前に、この学校の「目指す子供像」はこういってやっていますよということ、一番の基本は、やっぱり人として大切にされることだろうということ、「人間尊重」という文言がここに入ってきたわけです。それから当然、いわゆる命を大切に。人のことを大切にするとともに自分のことも大切に。末永校長と私の思いでこういうふうはこの言葉を入れました。

「やさしく」「つよく」の括弧のところに、知・徳・体と書いてあります。教育長のほうからも学校のことについては、もうご存じのように、知育・徳育・体育という3つを言われています。最近はいろんな何とか育というのがありますが、でもやっぱりこの3つだろうと。

この3つにして、どういう子供たちかという具体像は、それぞれいろいろありますが、そぎ落としてわかりやすく、「やさしく」については、「正しいことを判断する子」「地域や社会につくす子」「自分に自信をもてる子」というふうに考えました。ではその意味合いはというと、またたくさんあります。立ち上がるために何をしていくかということがありますので、目標とする子はある程度設定していかなければと思いました。

また、「つよく」というのは、「努力する子」「がまんでできる子」「健康な体をつくる子」と、できるだけ短いセンテンスで、いろんな意味を含めるような形で文言を選びました。

それとともに、実は子供たち用に何かフレーズがあるといいなと思い、新しい学校の「永福小のあ・い・う・え・お」というので、こんなことを考えてみました。これをみんなで合い言葉にできるといいなと思います。

まず、一番最初、この新校の目標を考えたとき、協議委員の皆様にもさまざまなご意見を伺って、最終的に「やさしく つよく」となったのですが、その中でもあいさつが大切ですよとか、いろんな意見をいただきました。その中で、やっぱり私たちもこれは大切だなということで、まず一番には「あいさつのできる子」。実はこれも知・徳・体を含んでいます。「いつもかんがえ

	<p>る子」というのは、比較的知育のことを言っております。「うんどうする子」は、当然体育の子です。それから、「えがおでいる子」というのは、やっぱりそういう全体的な表情というのはとても大切なことなのかなと思っております。コミュニケーションマークのところにも「えがお」が入っていますけれども、それは子供たちが常にそういう形で目標としていてほしいという願いをもって書きました。当然「おもいやりのある子」というのは、徳育のほう、道徳的な価値の中で一番大切にしようなということ、一応こういうふうに大きな本筋を書きました。</p> <p>今後の動きとして、両校の教職員については、これからご意見を伺いますが、まだこれの説明をしております。この次、教員たちの交流会がありますので、その席上で今後の方針を提示し、それとともに生活指導やそういうような大筋のところが決まっていくような手順でしております。</p> <p>一応、雑駁な説明をいたしましたけれども、何かご意見等ございましたらお願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。こんな内容も加えてほしいとか、このことはどういうことを目指しているのかとか、意味しているのかとか、意見でもお考えでも結構ですので、お願いします。</p>
委員	<p>「目指す子供像」の「つよく」のところで、「がまんできる子」というのがあります。今、「がまん」という言葉はどうなのかな。どういうがまんなのかな。目標になるわけですね。違った意味合いでとられることはありませんでしょうか。</p>
副会長	<p>意味づけのことについては、確かにそのところはあるかもしれませんが。ただ、子供たちに今、耐性というのが大分落ちてきているなと感じています。自分の調子が悪いことをがまんするという、そういうがまんではなく、自分たちで頑張れるところやがまんできることについてとか、取り組めることについては、しっかりやってほしいという意味合いです。</p>
委員	<p>言っている意味はすごくよくわかるのですが、さっき言ったみたいに、トイレに行きたいのに団体行動のところでは行ってはいけないとか、言いたんだけど言ってはいけないのだろうかとかの「がまん」とは違うと思います。「がまん」という言葉が今皆さんの中でどういうふうに使われているのかなというのが、心配になっているところです。今、あまり「がまん」って使わないと思いますがいかがですか。</p>
副会長	<p>教員たちが「がまんしなさい」ということは、よく言います。でも、これが本決まりではありませんので、ご意見としてお聞きしておきます。</p>
委員	<p>もう少し正確に意味が伝わるようにできたらお願いします。</p>
委員	<p>これはあくまでも表題であって、この下にまたいろいろくっついてくるわ</p>

	<p>けですよね。だから余りここで議論してもしょうがないのではないかと思います。各論になってきたときに、そこで議論したほうがいいと思います。</p>
会長	<p>ほかにはいかがですか。今のことだけではなくて、ほかのことでも結構です。</p> <p>最終的には今委員から話があったように、これをもとにしながら教育課程を編成していくわけですので、その中でもう少し具体的なお話や内容についてお示しできると思います。また、そのときにご意見をいただくことは可能だと思います。</p> <p>今意見を出していただいたほうが、具体的にそれを作成するに当たって、もっと意識させるような文言にしようとかできますので、今、いろいろおっしゃっていただければと思います。</p>
委員	<p>委員がおっしゃった「がまん」ということについて思ったのですが、がまんするというのは自分一人ががまんするというよりは、相手の子のためにがまんするとか、今ある状況を把握しながら、自分はちょっとがまんしようとか、意味合いを自分一人にこもらせるようなところではなく、他者というか、そういうところに向けていくと本当の強さにつながるのではないかなと思います。</p>
会長	<p>相手とのかかわりの中でのがまんとか、そういうことですね。</p>
委員	<p>最近いろんなことを考える方が多くいらっしゃいますけれども、「がまんって何だろうね」と子供たちが頭の中で反芻できるような、そういう機会があってもいいのかなと思ったりもしました。この「がまん」を何となく心にとめて、本当のがまんって何だろうとか、どういうことなんだろうというのを考えるいい場だとも思います。がまんして勉強しなきゃいけないとか、いろいろ言いたいこともがまんしなきゃいけないとかじゃなくて、相手の意見とか気持ちを聞く「がまん」とか、色々な意味での「がまん」を考えさせられる場などのきっかけになるといいのかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今いただいたご意見なども加味させて、文言そのものや内容を補うなど検討させていただきます。</p>
委員	<p>「つよく」の項目にあります、「努力する子」「がまんできる子」に含めてほしい子供像に、例えば勇気を持つというか、高学年になると特に、子供同士のけんかとか言葉遣いの悪さで悲しい思いをしているお友達がいたら、それを守る勇気を持ってほしいという、そういう勇気を出す、だめなことはだめだよと勇気を持って強い心で挑もうよという気持ちも、「目指す子供像」のところにに入れていただきたいなと思います。</p>
副会長	<p>一番のコンセプトは、簡単な言葉で、短い言葉でわかるということです。私たち校長になったときに、今、子供たちはコミュニケーションが必要です</p>

	<p>よと。それから、国際理解ということも必要ですよ。問題解決的なことも必要ですよ。それから、自分を自己表現することも必要ですよと。いろんな言葉を考えました。そして、一番大切なのは、前文でやった「人間尊重」「命を大切にする」。「がまん」については、日本人が持っている特性の中の幾つかのよい特性の中に「忍耐づよい」というのがあって、それは私たち国民のいいところなんです。いろんな意味合いがありながら、ただ、それをやさしい言葉で表現したのが「がまん」です。</p> <p>こういうことも言ったり、こういうこともありたいというのはあって、さまざまな言葉、実はこの言葉になるのに何十もの言葉を全部洗い出して、末永校長と、「これはどう?」「ここはこういうふうに入れたいね」というふうにして、こここのところの部分になりました。ただ、そういう意見があったということについては、どこかのところで……。</p> <p>ただ、「がまんする」ということに関して、がまんしなくてもいいよという考え方もあるんです。それは、特に特別支援教育の中では、そういうことを言うのではなくて、がまんしなくていいんだよという、そういう働きかけもします。だから実は、がまんしなくてもいいんだよという子も必要なんです。それがわかってくるからこそ「がまんする子」なんです。だから、いつでもがまんするとか忍耐強い、それが全てではないということは、教員たちの教育活動の中でも話していかななくてはいけない。ただ、文言として表現するためにどうしてもこういう言葉になる、そここのところの意味合いというのがあるといのはご理解していただきたい。もちろん、どんどん意見を言っていたら、なるほどということについては加除訂正を加えたり、意味づけをしたり、そういうふうには思っております。</p>
委員	<p>今、皆さんのお話を聞いて、「がまんできる子」というのは大変いいのですが、私が思ったのは、「おもいやる子」というような言葉も検討の一つではないのかなと思いました。</p> <p>今社会問題になっているいじめの問題がどうしても避けて通れないと思うのです。そういうことはしてはいけないとわかっているんだけど、いじめている本人はいじめているんじゃないんだよというんです。子供一人一人が相手に対して思いやる心を持っていれば、必然的に今言われているいじめというものはなくなるのではないのか、というようなことも思ったもので、「おもいやる子」という言葉を思い浮かべました。</p>
副会長	<p>おっしゃるとおりで、思いやることはとっても大切だと思っています。「あ・い・う・え・お」の中で表記させてもらいました。</p> <p>「おもいやりのある子」も漢字にするのが平仮名にするのかということも悩みました。1年生は、「おもいやり」といったときに、まず平仮名で習いま</p>

	<p>すから、平仮名表記にしました。だから、「やさしく つよく」も全部平仮名にしてあります。できるだけ漢字じゃなくて平仮名を使おうよと。</p> <p>ただ、実はそうでもないものもあるんです。「健康」や「地域」という言葉。この言葉は漢字であらわしたほうがわかりやすいんです。文字の字面のこととか、動詞形にするのかということがありますし、形容詞でもっていくのか、そこのところもさまざまなことを考えてやったつもりではいますが、ただ、本当にいろんなご意見を伺えればと思います。</p>
委員	<p>「い」は苦労されましたね。「いつも」が入る。「あ・い・う・え・お」に合わせようとする努力がうかがえるというか。</p>
会長	<p>「たまに」じゃだめなんです。</p>
委員	<p>「いつも」というのがね。それは、さっきおっしゃったコミュニケーションも全部いろいろ含まれているなというふうに。</p>
委員	<p>「あ・い・う・え・お」は子供たちが接する標語的な感じで、この「目指す子供像」というのも、その上にある、でも子供たちにも知ってほしいという感じで、文言も子供にわかりやすくという考えなんでしょうか。</p>
副会長	<p>実は、校長たちは学校の教育課程とかさまざまなことをやらなくてはいけません。それをこういう学校をつくりますよ、こういうふうに年間の教育課程にしますよという形で、区のほうに提出するんです。学校のホームページに教育課程を載せてはありますけれども、それに対してはどうしても「目指す子供像」、これが必要になってくるんです。第1表の一番最初に書くものなんです。これができないと、さっき言ったように、教員たちも具体的にどういう活動をすればいいのかということが見えてこないんです。この表をどういうふうに出すかについては、今後また検討していきたいなと思っております。</p> <p>ただ、まず「あ・い・う・え・お」だけは、必ず子供たちがいつでも言えるようにというか、これなんだよと、教員たちもこうなんだよと。「やさしく つよく」の次にそこら辺を入れます。もちろん全ての教育活動が目指す子供像を達成する目標に向かってやっていますという意味づけとか意義づけとか、そこからおりてくるものです。ただ、これを全部頭にこういうふうに出すか、どうするかというのは、これから検討しなくてはいけないなと思っています。</p>
会長	<p>教育目標を考えると、「あいさつができる子って、ああ、永福小の子ね」というような話があったと思うんですよ。あいさつができるのは永福小学校の子供だ、あるいは統合新校の子供だというような話があったときに、やはり地域の中で、このことをきちっと身につけておいてもらえば、きちっとした社会性がついたり、考えたり、勇気があると、そういうような一番大もと</p>

	<p>になることを子供たちに必ず身につけてほしいというような強い願いとか思いもあります。きっとこれができれば、「正しいことを判断する子」にも育つし、「自分に自信をもてる子」にもなるしというようなその大もとだと思います。いっぱい子供たちには求めることはあるけれども、最低限これだけはきちっとやろうね。いわゆる統合新校のスタンダードというような、一つの考え方になればいいかなというふうには思っています。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。次回になるとかなり教育課程のほうが進んできますので、こういうことも考えてほしいというものは、できたら今この中でお話をいただければと思うのですけれども。</p> <p>特によろしいですか。では、また教育課程をお示ししていただくときに、もう少し内容をこういう形にしてほしいとか、そういうようなご意見をいただくというような形でよろしいですか。ありがとうございました。それでは、いただいた意見をもとにしながら、また教育課程の作成に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>それでは、3番「校歌制作の進捗状況について」。</p>
新しい学校づくり係	<p>校歌制作の進捗状況をご報告いたします。</p> <p>前回、協議会で作詞はタケカワユキヒデさん、作曲は吉川慶さんに依頼すること、作詞と作曲を分けてお願いするということが決まりましたので、早速打診しましたところお二人とも快く受けてくださいました。</p> <p>協議会でもお話があったので、ぜひ学校のほうにおいでくださいということをお話ししましたら、「実際の学校を見たいですね。イメージを膨らませるためにも」というお返事をいただきました。吉川さんは7月5日に、タケカワさんはその翌週の12日に、永福南小学校・永福小学校両校を訪問していただいて、校内の見学や校長先生・副校長先生からの説明を受け、熱心に聞いていらっしゃいました。その際、吉川さんは永福南小で、タケカワさんは永福小で給食をいただいて、とてもざっくばらんなお話ができてよかったと思います。</p> <p>お二人は詞を先につくってから曲をつくりましょうとか、直接会って話をしましょうとかもう具体的なお話をどんどん進めていらっしゃいます。完成は1月末、もうちょっと早いかもしれませんが、遅くても1月末までにはつくっていただけるとのことです。</p> <p>少し早いですが、来春4月6日の開校式のご案内もしました。</p>
新しい学校づくり係長	<p>ちなみに、吉川慶さんは永福に近いところにお住まいのようです。タケカワさんのお孫さんも区内の小学校に通われているとのことでした。</p>
会長	<p>よろしいですか。では、ある程度の方向性が見えたときには、またご報告させていただきます。</p>

	<p>それでは4番目、「図書室、パソコン室の設計変更について」。</p>
新しい学校づくり係長	<p>昨年第13回の統合協議会(23年10月27日開催)において、会長から特別教室棟のラーニングセンターの設計変更についての説明がありました。基本設計では、パソコン室と図書室が一体になっていましたが、実施設計の段階で、学校側からやはり図書の授業とパソコンの授業というのは別にやる必要があるということや、調べ学習のときには一体となっているのは有効であっても、パソコン室で授業をしているときに区切りがないのは落ちつかないということもあり、最終的に図書コーナーとPCコーナーの間には仕切りを入れたいという提案が出され、皆様にもご了承いただきました。</p> <p>今、内装については、最終段階ということで、いろいろと細かい詰めを行っています。図書室とパソコン室の間に固定式の仕切りをつけ、双方の様子が見えるような比較的大きな開口部の窓が4か所、それから手前のところに1カ所引き戸の入り口があって、双方で行き来ができるような内装になっています。改めてご報告させていただきました。</p>
会長	<p>以前お話しした内容を確認させていただいたということですので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、報告事項については終わりましたので、その他に移りたいと思います。その他については、学校から各校の取り組み状況についてということで、双方の副校長先生のほうからお話しいただければと思います。では、各校の取り組み状況、交流状況、統合に向けたお話とか、分担をしておいてください。</p> <p>それでは、PTAの報告から先にいきましょうか。PTAが今どんなことをやっているかということで。</p>
委員	<p>今月もう一度、PTAの連絡会を設けております。来年度の役員選出について詳しい話し合いを詰めたいと思っています。来年度だけ、ちょっとイレギュラーな人数や役職を設けて、統合後PTA活動に差し支えないように流れをつくっていきたいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。着々と進んでいるんですね。それでは、学校のほうからよろしくお願いたします。</p>
永福小副校長	<p>夏季休業中に2回、教員同士の統合会議を開きました。7月27日の金曜日、永福南小学校で行いました。特に教務内容、生活指導、それから特別活動に関する関係に分かれて教員同士が話し合いをして、今やっていること、それから統合後新しい永福小でどのように進めていくかということについて話し合いを行いました。</p> <p>8月29日は、両校の子供たちの特徴や保護者・地域の皆様のことについてもお互いの共通理解をしました。その後、7月と同じように教務、生活、</p>

	<p>特活に分かれまして、それぞれの今後のことについて詰めの話をしていきました。</p> <p>以上が夏休み中のことです。この後も、毎月1回両校の教員が集まって、新しい教育課程の編成等について話を進めていく予定です。</p>
永福南小副校長	<p>統合会議のほかにも個別に教務の部会で集まり、生活指導の関係などの打合せも続けております。先日も、教務と校長と、また学校づくり係の方とで、統合に向けての流れについて詳しく打ち合わせをさせていただいたりしております。</p> <p>本校としましては物品等の移動がありますので、現在そのリストの作成に入ってきているというところでございます。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p> <p>あとは平成25年の4月1日の開校に向けて、永福小学校も教室数を増やすなどいろいろな工事が入りまして、ある意味でリニューアルされてきていますので、その状況について副校長のほうからお話しいただけますか。</p>
永福小副校長	<p>学級数が17学級、普通教室が17でしたが、教室を2つ増やすために、もともとパソコン室だったところを家庭科室に、家庭科室だったところを教室2つ分に変更しました。それによって、現在19教室となり、19学級を用意することができるようになりました。</p> <p>物品の引っ越し関係の移動等もスムーズに行われまして、8月29日の2学期の始まりのときには、それぞれ全ての教室が使えるようになっています。</p> <p>現在は増えた2つの教室につきましては、一つは仮の会議室、もう一つは学校支援本部の支援本部室、それからデスクトップの大きなパソコンが今入る場所がないので、それも置いてあるというような状況になっています。</p> <p>今後、平成25年の夏季休業中には、現図書室が普通教室2つになりまして、全部で21教室ができるということになります。今後の引っ越しの予定につきましては、竣工後12月に入りましたら、新しい特別棟の図書室、パソコン室が使えるように整備をしていく予定です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。本当によい環境の中で統合ができるようにということで、教育委員会のほうでいろいろ考えていただいて、図工室、理科室、家庭科室にもエアコンが設置されました。</p> <p>それでは、今後の統合関係の日程が確定しているものがありますので、お知らせさせていただきます。</p> <p>12月11日が体育館棟等の落成式を予定しております。子供中心の集会形式ですけれども、教育委員会や学校関係者の方にも来ていただいて、見ていただくというようなことで、統合協議会の委員の皆さん方にも、その日にはご予約していただいて、おいでいただければと思っています。</p>

	<p>続いて、平成25年4月1日、統合校の開校です。4月1日というわけにはいかないのです、4月6日の土曜日の午前中に開校記念式典を行う予定です。土曜日に開校記念式典を行って、8日始業式・入学式を行う日程になるかと思っています。</p> <p>その他、何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次回の予定を決めさせていただきたいと思います。</p> <p>次回11月の協議会ですが、今かなり体育館棟の工事も進んでいますので、工事の様子・進捗状況なども、皆さん方に見ていただければと考えています。11月の上旬あたり、永福小学校で開催して、協議会の後に、施設見学を計画させていただきたいと思っています。11月7日水曜日の午前中はいかがでしょうか。</p>
	(日程調整)
会長	よろしいですか。では、次回11月7日水曜日の午前10時から永福小学校で開催いたします。
新しい学校づくり係長	開催場所は、この夏休みに改装した家庭科室でできればと思います。よろしく願いいたします。
会長	では次回は学校設置条例や統合新校の通学区域の報告、そして通学路についてもお話しいただければと思います。それと、校歌についてはどうですか。大体どのくらいにはめどがつきそうですか。
新しい学校づくり係長	タケカワさんと吉川さんがお会いする日程を今調整しているところです。お二人ともご多忙なので、11月に校歌の完成は無理かと思います。
会長	わかりました。それでは、第20回の統合協議会を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。